

ピアスの穴あけについての同意書

ピアスの穴あけをすることにより起こりえる、下記の合併症・後遺症につきましては、「医療過誤」とはなり得ませんのでご了承ください。

- ・ 感染などのリスクを抑えるため消毒をした上で専用の機器(ピアッサー)で穴を開けファーストピアスを装着します。麻酔は使いませんが一瞬で終わりますのでご安心下さい。
- ・ 金属アレルギーをお持ちの方にも対応できるチタンやプラスチック製のピアスを使用していますが、必ずしもアレルギーが生じない訳ではありません。
- ・ ケロイド体質の方などは、ピアスの周囲の皮膚が赤く盛り上がる場合があります。
- ・ 体質によっては、ピアスの周辺にしこりができる場合があります。
- ・ ピアスを留めているキャッチを強くしめすぎると、ピアスあるいはキャッチが皮膚の中に埋まってしまう場合があります。
- ・ 耳たぶの下の方やキワにピアスの穴をあけると、耳たぶが裂けてしまう場合があります。また、耳の形には左右差があるため、ピアスホールの位置に多少のずれが生じる可能性があります。
- ・ ピアスホールをあけることに失敗することがあり、その際の補償はいたしかねます。
- ・ ピアスの穴をあけた後に出血することがあります。また、ピアスをつけている間は、常に感染の可能性があります。施術当日は、入浴時そのままシャワーをかける程度にし、翌日以降は入浴時にピアスを前後にゆっくり動かしながらシャワーをかけてください。
- ・ ピアスの穴をあけることにより、細菌・ウイルスなどに感染し、腫れ・赤み・痛み・熱感などの炎症症状や化膿をおこすことがあります。そのような症状がみられた場合、ピアスは外さずに受診してください。(消毒薬は使用しないでください。消毒薬でかえってかぶれる可能性があります。)
- ・ ピアスホールが完成するまで、個人差がありますが1ヶ月半～2ヶ月はかかります。その間にピアスが外れてしまうと穴が塞がる場合があります。
- ・ 2ヶ月後のセカンドピアスへの交換が不安の際は、セカンドピアスご持参のうえ、受診してください。
- ・ 感染や、耳たぶが裂ける等のトラブルが発生した場合、治療には別途料金が発生しますのでご了承ください。
- ・ 当院の方針として、片耳に2個以上のピアスの穴あけは行っておりませんので、ご了承ください。

ピアスの穴あけを行った場合の合併症の危険性について、十分に内容を理解しました。その上で、自己の責任において施術を受けることに同意いたします。

令和 年 月 日 氏名

保護者氏名(未成年の場合)

AdeBクリニック